

認め・語り・挑む

第2号 令和2年5月15日

文責：森浩之

1. これまでの様子

高校に入学して1か月が過ぎました。始まりの1週間で考査や全体オリエンテーション、教科オリエンテーション（国・数・英）、HRAでの係決め等が終わりました。いよいよ授業を中心とした学校生活がスタートといったところでしたが、再び臨時休業となりました。5月12日、分散登校という形ではありましたが、久しぶりに生徒の元気な姿を見ることができ、たいへんうれしく思っているところです。臨時休業中、ご家庭でのご支援、たいへんご苦労されていることと存じますが、まずは自分の命、そして周りの人の命が一番大切であるということをご理解の上、今後ともご協力をお願いいたします。今現在、まだ不安な生活が続いていますが、だからこそ「自分は何をすべきなのか、自分ができることは何か」をしっかりと考えることが重要であると考えます。ご家庭におかれましても、ぜひご助言・声掛けをお願いいたします。

学校では「Zoom」を利用したホームルームや講座などできることを模索しながら、生徒を全面的に支援していきたいと考えております。

生活面・学習面等においてご不安・ご質問がありましたら遠慮なく学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。



第35回入学式



1組

2組

3組



4組

5組

6組

2. 4月考査について

高校で初めての考査が行われました。別紙で成績を送付いたします。結果（数値）に一喜一憂することなく、問題・答案などと一緒にしっかりと分析することで、今後の自分の学習に役立ててもらいたいと思います。まずは今の自分をみつめ、次へ向かって挑んでほしいと思います。

国語	<p>まず皆さんにお伝えしたいことは、課題の取り組みの甘さです。高校入学時の春休み課題にして、記述問題を解かず書き写している人、本文に解いた形跡がないのに全問正解している人などが多数見受けられました。課題は何より自分のためです。どんなに難しい問題でも、まずは自分の力で考える。解いたからには、模範解答を読んで、参考になった点を書き写す。必ず以上のことを守ってください。テストについては、古典の基礎知識の定着度に差があるように感じました。現代文は、これから一緒に解法を学んでいきましょうね。</p>
数学	<p>中学校の内容がしっかりと身につけていることがうかがえる結果でした。この結果を自信に繋げ、今後継続した努力をしてください。高校では解法が問われます。今回の考査では解法を軽視している人がたくさん見受けられました。今後は答えのみでなく、きちんと答案を書く意識を大切にしてください。</p>
英語	<p>中学校までの基本的な文法事項の確認でしたが、【1】～【3】の文法知識理解、【4】【5】の並べ替えや英作文の項目については、正確な文法知識を使って、英語で表現できるかが問われました。【9】の英作文で、15語以上で書くことができても、3単現のS、過去形になっているか（時制と言います）、単複数の一致など、自由英作文をする際にも課題がたくさん見えたと思います。でも、ここからが全てのスタートです！全力でサポートしますので、自学をベースに、授業で理解し、コツコツと実力をつけて、自信に変えてほしいと思います。</p>